

当院でのバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）の対応について

令和4年3月14日

一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院
病院長 永田 泉

令和4年2月24日、当院に入院されている入院患者様からバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が検出されました。この患者様を中心としたスクリーニング検査を施行したところ、現時点で、特定の3病棟から計5名のVRE保因者が判明しております。

北九州市保健所と協議をいたしまして、当面の間、以下の感染対策を実施することになりました。

特定の病棟に入院される患者様には、入院後VREスクリーニングと、退院時のVRE陰性確認を実施することをお願いしています。そのため退院される日時に制限がかかることがあります。

患者様・ご家族の皆様にはご心配やご不便をおかけすることになり、たいへん申し訳ありません。何卒、ご理解とご協力頂きますようよろしくお願いいたします。

【バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）について】

腸球菌は人間の腸管に存在して、病気の原因となることはほとんどありません。しかし、体力の低下・抗がん剤治療や手術などで、感染症を起こしやすい状態になると、敗血症や心臓の炎症など、生命に危険な状態になることがあります。バンコマイシンというお薬は、この腸球菌による感染症の特効薬ですが、このバンコマイシンに耐性を持つ腸球菌をバンコマイシン耐性腸球菌、通称VREと呼びます。

VREは、たとえヒトの体に感染しても、感染症を発症することはまれです。この場合、除菌目的に治療を行う必要はありません。また、一度感染しても自然と消失することが知られています。また、最近では、リネゾリドというVREに有効な抗菌薬の登場もあり、感染症を起こしても臨床的に治療は十分可能です。